

デンマークで初公演。 エキゾチックな演奏で 会場を魅了

北海道農民管弦楽団
代表 牧野 時夫さん (49歳、余市町)



北海道農民管弦楽団代表の牧野時夫さん (果樹・野菜栽培)

——初めてデンマーク公演を行いました
したが

牧野 2月10～17日に総勢62人でデンマーク演奏旅行を行いました。楽団は8～74歳で構成されていて、小学生から大学院生、農業試験場研究員、農業改良普及指導員など、そして畑作・稲作・野菜・果樹・酪農・養豚農家がメンバーになっています。デンマークに着いたのは2月12日で、午前中にシルケボー市内を観光した後に、地元のシルケボー室内管弦楽団との合同練習をしました。

シルケボー市は人口8万ほどで、ユトランド半島の真ん中に位置し、湖の回りに市街が広がる景観の良い町です。演奏を行った会場でフルオーケストラが演奏したのは私たちの楽団が初めてでした。演奏会では地元市長や副市長、日本の大使館の方々に出席していただいて、約300人の聴衆に集まってくれました。

会場ではモーツァルトの歌劇「魔笛」序曲を地元の楽団と合奏し、次に地元楽団の単独演奏、3番目に私たちがだけで私が作曲した「北海道奇想曲」を披露しました。同奇想曲は北海道民謡やアイヌ民謡の旋律を取り入れ、さらに和太鼓を使い、オーケストラに元々ある楽器で琴、三味線などの和楽器を真似した演奏が随

所にある曲です。そして後半は再び地元楽団の人も加わり、ドボルザークの交響曲第8番を演奏。アンコールでデンマークでは誰もが知っている歌「森の深い静けさの中で」を演奏し、会場の人たちに歌で加わってもらいました。最後はスタンディングオベーションで私たちを称えていただいたのです。翌日の地元新聞には「幻想的でエキゾチックな演奏」と書かれていて、地元の方から「農民オーケストラが日本にあって、その演奏レベルも高いのに驚いた」というコメントに感激しました。

——デンマークでは2回、演奏会を行われましたが

牧野 翌日の14日に同半島のロンデ市にあるカラー有機農業学校を訪れました。デンマーク国内には農業学校が9つあり、有機農業を学べるのはここだけ。同校の学生や近隣の生産者など約100人に来ていただいて、デンマークの作曲家ニールセンの木管五重奏曲など9曲を演奏しました。その後、校長先生に学校内の施設を案内していただいた後、日本とデンマークの農業の制度や取り巻く環境などの違いについて意見交換をしました。

デンマークでは農業学校などで3年半以上学び、資格を取得しなければ